

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日		千葉 茂		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目的	常に新鮮なる人材を必要とされる社会に対応し、専門の知識と技術を身につけ、技術者としての実力を蓄え、社会の中堅となる人材を養成することにある。環境・バイオ科では、企業との連携を密にすることにより、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業	工業専門課程		環境・バイオ科		平成22年文部科学大臣告示第153号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,860	720	240	1,080	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		91 人		2 人	6 人	8 人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始: 4月1日～ ■夏 季: 8月3日～9月4日 ■冬 季: 12月23日～1月6日 ■学年末: 3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭、国際都市おおたフェスティバルin 空の日 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 水ing株式会社、日本管財株式会社、荏原環境プラント株式会社、株式会社総合環境分析、株式会社日本色材工業研究所 等 ■就職率※1 : 97.4 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 78.4 % ■その他 大学編入: 東京工科大学、日本大学、立教大学 計9名 進学: 日本工学院計1名 (平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	化粧品製造所責任技術者 環境測定分析士 環境社会検定 有機溶剤作業主任者 特定化学物質等作業主任者 毒劇取扱学物質等作業主任者 品質管理検定 ほか		
中途退学の現状	■中途退学者 9 名 平成26年4月1日 在学者 105 名 平成27年3月31日 在学者 96 名		■中退率 8.6 % (平成26年4月1日 入学者を含む) (平成27年3月31日 卒業者を含む)				
	■中途退学の主な理由 進路変更、病気療養、経済的理由、体調不良						
	■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。						
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業が必要とする人材を育成するために、企業へのヒアリングを実施し、実務に関する知識や技術を調査し、授業科目の開設や授業方法の改善や工夫を行うことにより、カリキュラムに反映させる。更に、授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業(講師)との間で意見交換を行い、授業内容や評価方法を定める。常に授業内容や方法を等について検証することにより、実践かつ専門的な職業教育を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
小林 りょう	一般社団法人日本下水道施設管理業協会 監事
太田 望斗	株式会社環境施設コンサルタント 計画部課長代理
島田 雅章	荏原環境プラント株式会社 O&M事業本部 維持管理統括部 業務
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長
川村 公二	日本工学院専門学校 環境・バイオ科 科長
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 次長

(開催日時)

第1回 平成27年3月20日 15:00～16:00 16:00～16:30

第2回 平成27年8月5日 13:00～14:00 14:00～15:00

第3回 平成28年3月(開催予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等との打ち合わせにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
環境バイオ 基礎実験1・2	環境・食品・化粧品に必要な化学実験を行います。	労働技能講習協会
環境バイオ 応用実験1	水質分析、食品分析および化粧品製造実習を行います。	公営事業株式会社
環境バイオ 応用実験2	水処理実験、水質分析、食品分析、食品分析および化粧品製造実習を行います。	公営事業株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新の技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役社長
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会)教育事業部 教育推進グループ セクションチーフ
前原 恵子	公益社団 全国経理教育協会 作問委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長
高橋 修	学校法人上野塾 東京実業高等学校 キャリアセンター長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/26_kobetsuhyoka_kmt.pdf

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_kankeisyahyoka_kmt.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_opendeata_kmt.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 環境・バイオ科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル	就職するにあたっての心構えや、自分に合った仕事の見つけ方、就職活動に必要な基礎を学びます。	1前	30	2	○			○		○		
○			キャリアガイダンス1	仕事に必要な知識やマナーを勉強し、ビジネス能力検定3級の合格を目指します。	1前	30	2	○			○		○		
		○	スポーツ実習1	冬季にスキーやスノーボードの集中授業を行います。	1後	30	1			○		○	○		
○			パソコン実習	文章入力、表計算グラフ作成などの実習を行います。	1後	60	2			○	○			○	
○			基礎数学	化粧品・環境の授業・実習に関わる数学の基礎を学びます。	1前	30	2	○			○		○		
○			基礎化学	環境・食品・化粧品などに関わる化学の基礎を学びます。	1前	30	2	○			○			○	
○			基礎生物学	細胞の構造と機能、呼吸や光合成など生物のしくみの基礎を学びます。	1前	30	2	○			○		○		
○			無機化学	環境・化粧品に関わる微生物の種類や利用方法を学びます。	1前	30	2	○			○			○	
○			有機化学	有機化合物の構造と性質を学びます。	1後	30	2	○			○		○		
○			分析化学1	物質の濃度や化学分析の基礎を学びます。	1後	30	2	○			○			○	
○			生化学	糖、タンパク質、脂質、核酸などの構造と性質を学びます。	1後	30	2	○			○		○		

○		微生物学	環境・化粧品に関わる微生物の種類や利用方法を学びます。	1 後	30	2	○			○			○	
○		環境・バイオ演習 1	環境・食品・化粧品などに関わる資格取得および化学に関する演習を行います。	1 前	30	2		○		○			○	
○		環境・バイオ演習 2	環境・食品・化粧品などに関わる資格取得および化学に関する演習を行います。	1 前	30	2		○		○			○	
○		環境・バイオ演習 3	環境・食品・化粧品などに関わる資格取得および化学に関する演習を行います。	1 後	30	2		○		○		○		
○		環境・バイオ演習 4	環境・食品・化粧品などに関わる資格取得および化学に関する演習を行います。	1 後	30	2		○		○		○		
○		環境バイオ基礎実験 1	環境・食品・化粧品に必要な化学実験を行います。	1 前	120	4			○	○		○	○	○
○		環境バイオ基礎実験 2	環境・食品・化粧品に必要な化学実験を行います。	1 前	120	4			○	○		○	○	○
○		環境バイオ基礎実験 3	環境調査と化粧品製造の基礎実験を行います。	1 後	120	4			○	○		○	○	
○		環境バイオ基礎実験 4	環境分析と食品分析、化粧品分析の基礎実験を行います。	1 後	120	4			○	○		○	○	

○		キャリアデザイン2	応募書類の作成法や、筆記試験や面接などの採用試験の受験対策を行います。	2 前	30	2	○			○		○		
○		キャリアデザイン3	応募書類の作成法や、筆記試験や面接などの採用試験の受験対策を行います。	2 後	30	2	○			○		○		
	○	スポーツ実習2	冬季にスキーやスノーボードの集中授業を行います。	2 後	30	1			○		○	○		
○		分析化学2	物質の濃度や化学分析の基礎を学びます。	2 前	30	2	○			○			○	
○		機器分析化学	分析機器を使用した食品成分や化粧品成分、環境汚染物質などの分析方法を学びます。	2 前	30	2	○			○			○	
○		統計学1	測定データの解析に必要な統計学の基礎を学びます。	2 後	30	2	○			○		○		
○		統計学2	測定データの解析および管理について学びます。	2 後	30	2	○			○		○		
	○	環境概論	公害問題から地球環境問題について学びます。	2 前	30	2	○			○			○	
	○	水環境学	地球の水環境、水質汚濁の現状、汚濁の原因と影響について学びます。	2 前	30	2	○			○			○	
	○	水処理技術1	化学的水処理技術および生物学的な水処理技術を学びます。	2 後	30	2	○			○			○	
	○	水処理技術2	給排水・衛生設備の管理方法を学びます。	2 後	30	2	○			○			○	
	○	食品化学	食品の製造や製造工程、保存方法などを学びます。	2 前	30	2	○			○		○		
	○	化粧品化学	化粧品の役割と成分、利用方法について学びます。	2 前	30	2	○			○		○		
	○	生理学	人間の皮膚の構造と性質、生理などについて学びます。	2 後	30	2	○			○		○		

